

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 社会福祉法人梓の郷 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・差別を防ぐ体制を構築するため、人権、権利擁護研修、階層ごとの職場研修を実施している。 ・職場内相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記している。 ・研修を実施し、また、相談窓口を設置している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・選択制週休3日制を導入し、柔軟な就労体制を構築 ・時間外勤務の実態を毎月把握、改善を促している。 ・信州ふくにんの認証取得済み								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・外国人技能実習制度技能実習生等への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。 ・一時帰国に対する休暇制度を整備している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・安全衛生・防災・環境美化委員会において、ヒヤリハット等の事例に基づく定期的な検討を行っている。 ・安全衛生スローガンを応募し、最優秀賞の選出を毎年行い、意識啓発に努めている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスに関する方針を策定している。 ・全職員に対するストレスチェックを行い、該当者へは産業医の面接を実施 ・メンタルヘルス研修を実施			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・高齢者の再雇用に関する就業規則、育児、介護スライド勤務に関する規程を整備している。 ・長野県子育て応援宣言 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み ・障がい者雇用優良事業所表彰					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	環境	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・目標面談制度を通じたキャリアパス制度を構築 ・人材育成方針を定め宣言、法人内周知している。 ・信州ふくにんの認証取得済み				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・同一労働同一賃金等の原則に沿った就業規則、給与体系の整備を行っている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・腰痛予防を意図した介護ロボット(リフトなど)の導入 ・法人内専門職による介護手技の研修実施 ・法定健康診断項目への胃カメラ、胃部X線検査のオプション付与 ・一部感染症に対する自主検査費用の法人負担			3					8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・適切な分別処理と紙類等の溶解処理など資減化を進めている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・特養施設にはでデマンド記録を行う装置を設置し、電気使用量やCO2換算量等の把握、節電管理を行っている。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・特養施設の屋上に太陽光パネルを設置し、電気使用量やCO2排出量の抑制に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令に基づき規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)	【非該当】		主たる業務が介護、福祉サービスのため、生物多様性に悪影響を及ぼさない。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・適切な分別と資源化の徹底 ・使用しなくなったランドセル、衣類を回収 ・リース業者へ受け渡すためのボックスを設置し、3Rに取り組んでいる。												13	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・衛生管理上、問題のない範囲で節水に取り組んでいる。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・今後環境マネジメント規格の取得を検討			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・現在取り組みなし												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・特養施設の屋上に太陽光パネルを設置し、及び利用し、グリーン電力の使用に努めている。							7.2					13					
21	公正な 事業 慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現在取り組みなし												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・職員等の懲戒処分の指針を整備する中に規定し、法人内周知を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・職員等の懲戒処分の指針を整備し、また、経理規程の中に規定し、法人内周知を図っている。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・法人名、法人ロゴに関し、商標登録を行い、知的財産権の取得、管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「個人情報に関する基本方針」を定めて公表し、体制を整備している。 ・法人内研修を行い、相談窓口も設置している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・紛争鉱物を取り扱っていない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・利用者等を含め人権侵害防止等の取組に関し、研修等を重ねている。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・介護マニュアル等各種マニュアルを整備している。 ・事故対策委員会において、ヒヤリハット等の事例に基づく定期的な検討を行っている ・人材育成計画、研修計画に基づく研修を実施 ・信州ふくにんの認証取得済み			3.9										12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・介護マニュアル等各種マニュアルを整備している。 ・苦情解決に関する規程を整備し、苦情窓口の設置等サービス向上に努めている。 ・第三者評価を受審し評価に付し、結果をHPに公開 ・信州ふくにんの認証取得済み									9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・環境製品の開発、設計実績はない							6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・就労者の介護離職防止に係る取組を行っている。 ・地域内高齢者に対する独居、健康対策に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・避難訓練など地域と連携した事業、行事を展開 ・積極的に施設開放を進め、HP、インスタなどで情報発信し、交流している。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・地元住民参加型の認知症カフェの開催、介護相談会、介護者の集いなど公益的な取り組みを行っている。				4							11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・地元食材を利用した食事の提供								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			・経営理念、経営目標を明文化し、事業所ごと掲載し、朝礼又は会議において唱和、確認している。 ・運営会議において、事業所の目標等を確認及び共有								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・コンプライアンス規程を整備し、職員研修を実施し、法令遵守の考えを法人内周知している。																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・法人本部内に経営企画室を設置し、担当。将来にわたる社会、環境に対する企画を立案 ・専門的知見を有する有識者を理事、評議員に任用し、意見聴取している。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・各種イベントの開催、広報誌の配布により周知し、併せて要望の把握を行っている。 ・法定の運営推進会議、家族懇談会を定期的に実施 ・定期的に外部事業者による第三者評価を受け、結果をHPで公開																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			・事故対策委員会を設置し、事故等の原因究明、対策の検討を行っている。																16		
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・社会福祉法人として、地域の社会的な共通課題に向き合い、持続可能な社会の構築に努めている。																16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・事業継続計画を策定している。 ・計画に基づく実地訓練を実施している。									9		11		13 13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・中長期事業計画を策定し、事業計画を遂行している。 ・毎年度、事業計画の検証を行っている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定